



みなみの風

坂下南小学校
学校だより

NO. 40

R6. 9. 4

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

(文責:校長 菅家 篤)

「がんばっている」が「めざしていない」ときがある

二人の男がレンガを積んでいた。

「君たちは何をしているんだ？」とたずねると、

一人は「レンガを積んでいるんだ」と答えた。

もう一人は「城を造っているんだ」と答えた。

そして二人の未来は、まったくちがうものになった。



上の話は、先週、6年生の子ども達に、勉強する意味について授業をした際に紹介したものです。毎日、おうちの人、家族のために「がんばって」料理を作っていますが、シェフにはなりません。一方で、シェフになることを「めざして」料理の修業をしている少年は、数年後にはシェフになるという目標を達成します。

例えば、陸上記録会の練習をただ何気なく行っている人と、記録会で入賞をめざして取り組んでいる人とは、同じ練習をするのにも違いが出てきます。また、漢字練習でも、ただ書いている人と、50問テストで満点をめざして書いている人とは、書き方に違いが出るでしょう。満点をめざしている人は、手本の文字を注意深く見て、細かい所まで目を配りながら書き取りを進め、正確に覚えることにつながっていくでしょう。

つまり、何をやるのにも何かを「めざす」ということが自分を高めていくためにはとても大切です。最小の努力でも最大の結果を出すために、全ては「めざす」ことから始まるのではないのでしょうか。さて、あなたは、何のために勉強をしていますか？ 何のために学ぶのですか？



授業中、学習に取り組む子どもたち。あなたは何をめざして学んでいますか？



「親子でチャレンジ！」前回の答えは、3の「常識」です。他の言葉は「未解決」「未完成」「未成年」というように「未」が付きますが、「常識」は「非常識」となります。